



## 2020年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2019年11月14日

上場会社名 ボーソー油脂株式会社 上場取引所 東  
 コード番号 2608 URL <http://www.boso.co.jp>  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 川崎 薫  
 問合せ先責任者 (役職名) 経理部長 (氏名) 古川 勝彦 TEL 047-433-5551  
 四半期報告書提出予定日 2019年11月14日 配当支払開始予定日 ー  
 四半期決算補足説明資料作成の有無: 無  
 四半期決算説明会開催の有無: 無

(百万円未満切捨て)

## 1. 2020年3月期第2四半期の連結業績(2019年4月1日~2019年9月30日)

## (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2020年3月期第2四半期	6,010	1.2	△144	—	△164	—	△173	—
2019年3月期第2四半期	5,935	△15.6	△230	—	△234	—	△246	—

(注) 包括利益 2020年3月期第2四半期 △180百万円 (ー%) 2019年3月期第2四半期 △248百万円 (ー%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2020年3月期第2四半期	△117.13	—
2019年3月期第2四半期	△166.54	—

## (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2020年3月期第2四半期	10,070	4,024	39.9
2019年3月期	10,481	4,200	40.1

(参考) 自己資本 2020年3月期第2四半期 4,021百万円 2019年3月期 4,197百万円

## 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2019年3月期	—	—	—	0.00	0.00
2020年3月期	—	—	—	—	—
2020年3月期(予想)	—	—	—	—	—

(注) 直前に公表されている配当予想からの修正の有無: 無

## 3. 2020年3月期の連結業績予想(2019年4月1日~2020年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	12,950	9.1	△40	—	△90	—	△100	—	△67.52

(注) 直前に公表されている業績予想からの修正の有無: 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無  
新規 一社（社名）、除外 一社（社名）

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2020年3月期2Q	1,606,000株	2019年3月期	1,606,000株
② 期末自己株式数	2020年3月期2Q	125,140株	2019年3月期	125,073株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2020年3月期2Q	1,480,870株	2019年3月期2Q	1,480,978株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は、様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用に当たっての注意事項等については、添付資料P. 3「1. 当四半期決算に関する定性的情報（4）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態の分析	2
(3) キャッシュ・フローの状況	3
(4) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(追加情報)	9
(セグメント情報等)	9
3. その他	9

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、全体的には緩やかな回復基調にあるものの、米中貿易摩擦や中国経済の減速による輸出の伸び悩みが懸念され、国内では消費増税が景気や消費者心理に及ぼす影響など、先行き不透明な状況が続いております。

こうした中、当社グループでは、業務用食用油につきましては既存ユーザーを中心に地道な営業活動を行いましたが、猛暑が9月末まで続いたことによる消費減退の影響を受け、販売数量、金額ともに減少いたしました。

油粕製品である脱脂糠につきましては、夏場の天候不順と自然災害により飼料・肥料向けの需要減少があったものの、拡販に努めた結果、こめ油生産に見合った適正数量の販売を安定的に継続いたしました。

家庭用食用油につきましては、こめ油の認知拡大を追い風に取扱店舗の増加に注力するとともに、SNS等を活用してこめ油の万能性を訴求することでリピーターの定着を図った結果、販売数量、金額ともに前年同期を上回りました。

このように、全体として売上高は前年同期を上回りましたが、工場稼働率が当初計画を下回ったことから売上原価を押し上げる結果となりました。

その結果、当第2四半期連結累計期間の営業成績は、売上高60億10百万円（前年同四半期は59億35百万円）、営業損失1億44百万円（前年同四半期は営業損失2億30百万円）、経常損失1億64百万円（前年同四半期は経常損失2億34百万円）、親会社株主に帰属する四半期純損失1億73百万円（前年同四半期は親会社株主に帰属する四半期純損失2億46百万円）となりました。

### (2) 財政状態の分析

#### (資産)

当第2四半期連結会計期間末における流動資産は47億34百万円となり、前連結会計年度末に比べ4億31百万円減少いたしました。主な減少の要因は、現金及び預金が2億81百万円減少したことによるものであります。固定資産は53億35百万円となり、前連結会計年度末に比べ20百万円増加いたしました。主な増加の要因は、有形固定資産が48百万円増加したことによるものであります。

この結果、総資産は、100億70百万円となり、前連結会計年度末に比べ4億11百万円減少いたしました。

#### (負債)

当第2四半期連結会計期間末における流動負債は34億59百万円となり、前連結会計年度末に比べ58百万円減少いたしました。主な減少の要因は、支払手形及び買掛金が44百万円減少したことによるものであります。固定負債は25億86百万円となり、前連結会計年度末に比べ1億76百万円減少いたしました。主な減少の要因は、長期借入金が1億72百万円減少したことによるものであります。

この結果、負債合計は、60億45百万円となり、前連結会計年度末に比べ2億35百万円減少いたしました。

#### (純資産)

当第2四半期連結会計期間末における純資産合計は40億24百万円となり、前連結会計年度末に比べ1億75百万円減少いたしました。主な減少の要因は、親会社株主に帰属する四半期純損失を1億73百万円計上したことによるものであります。

(3) キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物の残高は、期首残高より2億81百万円減少し、11億70百万円となりました。

当第2四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期連結累計期間において、営業活動の結果獲得した資金は7百万円(前年同四半期は1億3百万円の使用)となりました。主な増加の理由は、減価償却費1億26百万円、主な減少の理由は、税金等調整前四半期純損失1億65百万円であります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期連結累計期間において、投資活動の結果使用した資金は96百万円(前年同四半期は3億16百万円の使用)となりました。これは主に有形固定資産の取得によるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期連結累計期間において、財務活動の結果使用した資金は1億92百万円(前年同四半期は1億73百万円の使用)となりました。これは主に借入金の返済によるものであります。

(4) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2019年5月14日に公表いたしました連結業績予想から修正は行っておりません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2019年9月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	1,484,636	1,203,549
受取手形及び売掛金	2,435,940	2,377,981
商品及び製品	534,280	475,605
仕掛品	176,027	213,919
原材料及び貯蔵品	369,833	395,932
その他	168,072	70,022
貸倒引当金	△2,737	△2,670
流動資産合計	5,166,053	4,734,341
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	745,930	968,993
機械装置及び運搬具（純額）	980,374	951,908
工具、器具及び備品（純額）	15,951	15,080
土地	1,973,993	1,973,993
リース資産（純額）	645,088	662,999
建設仮勘定	168,738	5,744
有形固定資産合計	4,530,077	4,578,719
無形固定資産	33,645	62,994
投資その他の資産		
投資有価証券	368,586	359,235
その他	384,049	335,872
貸倒引当金	△1,002	△1,002
投資その他の資産合計	751,634	694,105
固定資産合計	5,315,357	5,335,820
資産合計	10,481,410	10,070,161

(単位:千円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2019年9月30日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	1,704,578	1,660,439
短期借入金	1,304,080	1,314,980
未払法人税等	15,646	15,451
賞与引当金	99,748	93,013
その他	393,576	375,241
流動負債合計	3,517,629	3,459,126
固定負債		
長期借入金	928,040	755,300
退職給付に係る負債	584,794	547,823
役員退職慰労引当金	10,775	11,604
繰延税金負債	619,825	612,257
資産除去債務	3,392	3,410
リース債務	616,218	655,678
固定負債合計	2,763,046	2,586,074
負債合計	6,280,675	6,045,200
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,351,300	1,351,300
資本剰余金	814,596	814,596
利益剰余金	2,168,632	2,000,035
自己株式	△196,874	△196,965
株主資本合計	4,137,655	3,968,966
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	60,264	52,938
その他の包括利益累計額合計	60,264	52,938
非支配株主持分	2,815	3,055
純資産合計	4,200,735	4,024,960
負債純資産合計	10,481,410	10,070,161

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)
売上高	5,935,550	6,010,078
売上原価	5,293,048	5,281,446
売上総利益	642,501	728,632
販売費及び一般管理費	873,097	873,286
営業損失(△)	△230,595	△144,653
営業外収益		
受取利息	8	36
受取配当金	6,323	5,386
受取手数料	1,570	1,518
受取保険金	1,911	13,219
貸倒引当金戻入額	7,491	852
その他	11,801	2,954
営業外収益合計	29,107	23,968
営業外費用		
支払利息	28,399	31,183
支払手数料	2,135	8,611
その他	2,632	3,939
営業外費用合計	33,167	43,734
経常損失(△)	△234,654	△164,418
特別利益		
投資有価証券売却益	3,645	-
特別利益合計	3,645	-
特別損失		
固定資産除却損	3,400	1,166
減損損失	3,759	-
特別損失合計	7,159	1,166
税金等調整前四半期純損失(△)	△238,168	△165,585
法人税、住民税及び事業税	11,171	7,131
法人税等調整額	△3,777	491
法人税等合計	7,394	7,622
四半期純損失(△)	△245,562	△173,207
非支配株主に帰属する四半期純利益	1,075	239
親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	△246,638	△173,447



(四半期連結包括利益計算書)  
(第2四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)
四半期純損失(△)	△245,562	△173,207
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△2,487	△7,326
その他の包括利益合計	△2,487	△7,326
四半期包括利益	△248,049	△180,533
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△249,125	△180,773
非支配株主に係る四半期包括利益	1,075	239

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前四半期純損失(△)	△238,168	△165,585
減価償却費	114,339	126,352
退職給付に係る負債の増減額(△は減少)	1,160	△36,971
賞与引当金の増減額(△は減少)	9,285	△6,734
役員退職慰労引当金の増減額(△は減少)	166	828
貸倒引当金の増減額(△は減少)	△7,502	△67
受取利息及び受取配当金	△6,332	△5,423
受取保険金	△1,911	△13,219
支払利息	28,399	31,183
支払手数料	-	8,611
投資有価証券売却損益(△は益)	△3,645	-
固定資産除却損	3,400	1,166
減損損失	3,759	-
売上債権の増減額(△は増加)	83,615	57,958
たな卸資産の増減額(△は増加)	△138,865	△5,316
仕入債務の増減額(△は減少)	△47,944	△44,138
未払消費税等の増減額(△は減少)	3,111	9,887
未払費用の増減額(△は減少)	△18,324	△10,799
未収消費税等の増減額(△は増加)	13,347	95,926
その他	△44,406	△2,545
小計	△246,515	41,114
利息及び配当金の受取額	6,332	5,423
保険金の受取額	1,911	-
利息の支払額	△36,539	△30,786
法人税等の還付額	173,974	-
法人税等の支払額	△2,423	△8,356
営業活動によるキャッシュ・フロー	△103,260	7,395
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
定期預金の預入による支出	△40,960	△30,000
定期預金の払戻による収入	40,960	30,000
投資有価証券の売却による収入	3,645	-
投資有価証券の取得による支出	△1,140	△1,184
有形固定資産の取得による支出	△327,626	△138,552
無形固定資産の取得による支出	-	△4,536
保険積立金の解約による収入	-	53,649
その他	8,470	△5,457
投資活動によるキャッシュ・フロー	△316,651	△96,082
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
短期借入れによる収入	944,000	690,000
短期借入金の返済による支出	△832,000	△689,000
長期借入れによる収入	47,000	-
長期借入金の返済による支出	△233,270	△162,840
自己株式の取得による支出	△1	△91
配当金の支払額	△73,976	△385
ファイナンス・リース債務の返済による支出	△24,797	△30,083
財務活動によるキャッシュ・フロー	△173,045	△192,400
現金及び現金同等物に係る換算差額	-	-
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△592,957	△281,086
現金及び現金同等物の期首残高	1,985,332	1,451,676
現金及び現金同等物の四半期末残高	1,392,374	1,170,589

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(追加情報)

(表示方法の変更)

(四半期連結キャッシュ・フロー計算書)

前第2四半期連結累計期間において、営業活動によるキャッシュ・フローの「その他」に含めて表示しておりました「未収消費税等の増減額」は、金額的重要性が増したため、当第2四半期連結累計期間では区分掲記しております。この表示方法の変更を反映させるため、前第2四半期連結累計期間の連結財務諸表の組替えを行っております。

この結果、前第2四半期連結累計期間の連結キャッシュ・フロー計算書において、「営業活動によるキャッシュ・フロー」の「その他」に表示していた△31,058千円は、「未収消費税等の増減額」13,347千円「その他」△44,406千円として組替えております。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第2四半期連結累計期間（自 2018年4月1日 至 2018年9月30日）

全セグメントの売上高の合計、営業利益及び全セグメントの資産の金額の合計額に占める油脂部門及びその副産物である油粕部門の製造及び販売事業の割合が、いずれも90%を超えているため、セグメント情報の記載を省略しております。

II 当第2四半期連結累計期間（自 2019年4月1日 至 2019年9月30日）

全セグメントの売上高の合計、営業利益及び全セグメントの資産の金額の合計額に占める油脂部門及びその副産物である油粕部門の製造及び販売事業の割合が、いずれも90%を超えているため、セグメント情報の記載を省略しております。

3. その他

継続企業の前提に関する重要事象等

当社は前連結会計年度に営業損失、経常損失及び親会社株主に帰属する当期純損失を計上し、また当第2四半期連結累計期間において1億44百万円の営業損失、1億64百万円の経常損失及び1億73百万円の親会社株主に帰属する四半期純損失を計上しており、継続企業の前提に重要な疑義を生じさせるような状況が存在しております。

当社グループとしては、当該状況を早期に改善・解消するべく、家庭用こめ油及び業務用こめ油の拡販により収益力の向上を図ると共に、生産体制については加工費の圧縮、効率化改善を行いコスト削減に努めることにより、業績黒字化を達成するよう取り組んでおります。これらの対処を的確に行うことにより、当該状況が改善される見込みであります。

また、当第2四半期連結会計期間末において現金及び預金12億3百万円を保有し、また運転資金の効率的な調達のために取引銀行とコミットメントライン契約を締結しており、必要な資金枠を確保していることから、資金面に支障はないと判断しております。

以上のことから、継続企業の前提に関する重要な不確実性は認められないものと判断しております。